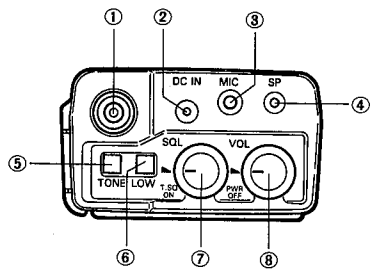


アフターサービスのお問合せは、
購入店または最寄りの当社サービスセンター
営業所をご利用ください。
商品に関するその他のお問合せは、
お客様相談室をご利用ください。
電話(03)486-5515

3. 操作

■各部の名称と機能



①アンテナ用コネクタ：付属のアンテナのコネクタ部を挿入して、右に回し、しっかり固定してください。

②DC IN 端子：外部電源用の端子です。7.2V～16Vの範囲でお使いください。中心が $\oplus$ 、外側が $\ominus$ です。極性に十分注意してください。
外部電源用には、必ず13.8V専用のDCコード（オプション）をお使いください。
ご注意：外部電源をご使用の間も、バッテリーバックは外さないでください。

③MIC（マイクロホン）：外部マイクロホン用の端子です。

④SP（スピーカー）：外部スピーカーまたはイヤホン用端子です。

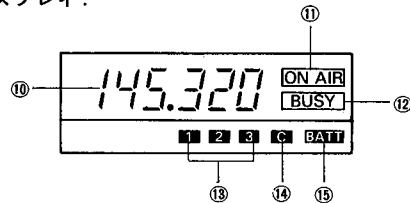
⑤TONE（トーン）：オプションのトーンスケルチユニット（TSU-3）をつけてトーンエンコーダ部を動作させるときなどに使います。

⑥HI-LOWスイッチ：送信出力を切り換えるスイッチです。近距離送信では、LOWの位置でお使いください。電池の消耗が少なくなり、動作時間が延びます。

⑦SQL（スケルチ）：通常は、無信号時の“ザー”という音を消すために使います。時計方向に回して、ノイズが消える位置にセットします。T.SQ（トーンスケルチ）の位置にしますと、オートスケルチ状態になり、一定の信号レベル以下の音を、自動的に消します。オプションのトーンスケルチユニット（TSU-3）を取り付けたときは、トーンスケルチの ON-OFF スイッチになります。

⑧電源スイッチおよびVOL：電源 ON-OFF スイッチと受信の音量調整ツマミが（音量）ツマミ 兼用になっています。左に回し切ると、電源が切れます。

⑨LCDディスプレイ：



⑩現在動作中の周波数が表示されます。

⑪送信中は **ON AIR** 表示が出ます。

⑫スケルチが開いている間は **BUSY** 表示が出ます。

⑬使用中のメモリーチャンネルナンバーを表示します。

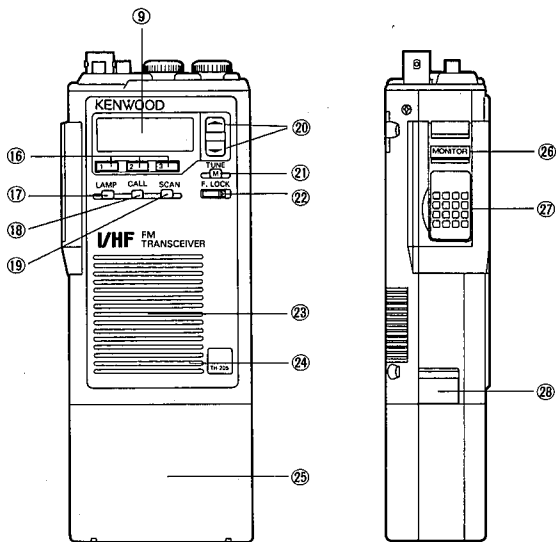
⑭CALL チャンネル使用時に **C** 表示が出ます。

⑮電源電圧が規定以下になったとき **BATT** 表示が出ます。
電池交換（Ni-Cd 電池の場合は充電）を行ってください。

⑯メモリーチャンネル：周波数のメモリーチャンネル指定や、メモリー呼び出し用のキーです。メモリーチャンネル使用中は、LCD ディスプレイにチャンネルナンバーが表示されます。

⑰LAMP キー：LCD ディスプレイの照明用スイッチです。

⑱CALL キー：コールチャンネル(145.000MHz)呼び出しキーです。ワンタッチでコールチャンネルにセットできます。



⑰SCAN（スキャン）：UP,DOWN キーと併用することで、表示中の周波数から、10kHz ステップで 144.000～145.990MHz帯をスキャンします。信号が入り、スケルチが開くとスキャンは解除されます。

⑱UP,DOWN キー：周波数設定用のキーです。両方のキーを併用することで、早送りができます。

⑲メモリー書き込み：メモリーチャンネルキー（⑰）と併用して、周波数キーをメモリーします。

⑲F.LOCK（周波数図：PTT および LAMP キー以外のキーを無効にするキー）

⑲スピーカー

⑲コンデンサ型マイクロホン

⑲電池ケース

⑲MONITORスイッチ：このスイッチを押している間だけスケルチ動作を解除します。

⑲PTT(Push To Talk)：送信するときは、この PTT スイッチを押しながら、スイッチ マイクロホン（⑲）に向かってお話しください。

⑲リリースボタン：バッテリーケースを取り外す時、このボタンを押しながら電池ケース（⑲）を反時計方向に回します。

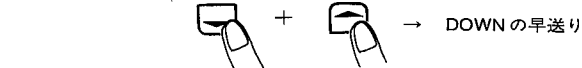
■周波数の設定

LCD ディスプレイに表示されている数字が動作中の受信周波数です。周波数の設定には $\blacktriangle$ 、 $\blacktriangledown$ キーを用います。 $\blacktriangle$ キーを1回押す（ $\blacktriangledown$ キーは逆に動作）と、10kHz上がります。1秒以上 $\blacktriangle$ キーを押し続けると、連続的に上がります。

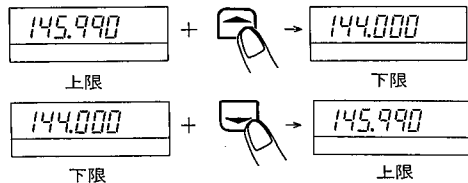
$\blacktriangle$ キーを押しながら $\blacktriangledown$ キーを押すと、UPの早送りになります。



$\blacktriangledown$ キーを押しながら $\blacktriangle$ キーを押すと、DOWNの早送りになります。



早送り中は受信していません。
上限の周波数に達すると、再び下限の周波数からになります。



■受信

電池ケースとアンテナの接続が終わりましたら、次の順序で操作してください。

1. 電源スイッチ（VOLと兼用）をONにします。LCD ディスプレイに周波数が表示されます。
2. VOL（音量）ツマミを右に回すと“ザー”という雑音、または交信中の音声が入ってきます。
3. SQ ツマミを右いっぱいに戻し切って、無信号時の“ザー”という音を消します。
4. UP,DOWN キー（ $\blacktriangle$ 、 $\blacktriangledown$ ）で希望の周波数を選びます。
5. 選局後、SQL ツマミを適当なレベルに調整します。

■送信

ご注意：送信する前に、必ずその周波数を受信し、他局が通話していないことを確認してください。

次に、アンテナが正しく接続されていることを確認してください。アンテナが、間違っていたり、接続が不完全だと、十分なパワーが出ないばかりか、他局への妨害や、故障の原因になります。

6W連続送信の時には、機器の温度が上昇し、故障の原因となることもありますので、間欠運用をおすすめします。

1. PTT スイッチを押します。
LCD ディスプレイに **ON AIR** 表示が出ます。これで送信状態です。
2. 正面スピーカー右下のマイクロホンに向かって話してください。マイクロホンと口の間隔は、5 cm位が適当です。

■CALL（コール）

CALLの周波数は、145.000MHzです。送信中を除いて、ワンタッチで145.000 MHzに移れます。

再び CALL キーを押すと、145.000MHzから元の周波数に戻ります。動作中は、LCD ディスプレイに **C** の表示が出ます。

■スキャン

スキャン幅は、受信周波数範囲の全域で、ステップは10kHzです。スキャン動作の前に SQL ツマミを右に回して、“ザー”という音を消します。

周波数の高い方へスキャンさせるには、 $\blacktriangle$ を押した後 **SCAN** キーを押します。スキャン開始後、信号が入ってスケルチが開くと、スキャン動作は自動的に解除されます。スキャンを途中で停止したいときは、**SCAN** キー、または **MONITOR** スイッチを押します。**CALL**、**M**、 $\blacktriangle$ 、 $\blacktriangledown$ キーでもスキャンは停止し、その後は押されたキーの動作をします。

周波数の低い方へスキャンさせる時は、上記の $\blacktriangle$ を $\blacktriangledown$ に置き換えてください。

■オートバッテリーセーバー（ABS）

受信状態で、スケルチが閉じたまま1分以上キーを操作しないと、自動的にバッテリーセーブ状態になります。スケルチが開くか、またはキー操作開始でバッテリーセーブは解除されます。

■メモリーの書き込み

書き込みのできるチャンネルは3つあります。**1**、**2**、**3**のキーがそれぞれのチャンネルを示します。

チャンネル1に書き込むには、最初に **M** キー、続いて **1** キーを押します。これで LCD ディスプレイに表示中の周波数がチャンネル1に記憶されます。

（例）144.760MHzをチャンネル1に書き込むには、
1. $\blacktriangle$ 、 $\blacktriangledown$ キーの操作により、周波数を144.760MHzに設定します。

2. **M** キーを押します。

3. **M** キーを押して5秒以内に **1** キーを押します。

4. 書き込みは終了しました。

メモリーに書き込めるのは、LCD ディスプレイに表示中の周波数のみです。

■メモリーの呼び出し

メモリーの呼び出しは、メモリーチャンネルキーを押すだけの、ワンタッチ動作です。（クイック・メモリー・リード）

（例）145.220MHzで動作中に前項で書き込んだチャンネル1を呼び出すには、

1. 現在の周波数。

2. **1** キーを押す。

3. LCD ディスプレイはチャンネル **1** の周波数になりました。これで完了です。

呼び出しを解除するには、

4. 再び **1** キーを押します。

前の周波数に戻ります。

工場では、チャンネル1, 2, 3ともに144.000MHzに設定してあります。

マイコンバックアップ用リチウム電池について

本機は、リチウム電池でメモリーのバックアップをしています。このため電源スイッチを切っても、メモリーは保持されています。電源スイッチをいれたとき、前にメモリーした周波数が消えて、144.000になるようでしたら、リチウム電池の寿命です。早めに電池交換を行ってください。

ご注意：マイコンバックアップ用リチウム電池を交換する場合は、購入店、または最寄りのサービスステーションにご相談ください。

4. 保守

■故障とお考えになる前に

1. 電源スイッチを入れてもLCD表示が出ない。
電池の $\oplus$ 、 $\ominus$ 又はDC INの $\oplus$ 、 $\ominus$ をお確かめください。
2. 表示が暗い（**BATT**表示が出ている）。
電源電圧が低下しています。電池交換またはNi-Cd電池を充電してください。
3. スピーカーから音が出ない。または受信できない。
SQL（スケルチ）ツマミを反時計方向に回すかまたはPTTスイッチをOFFにしてください。
4. $\blacktriangle$ 、 $\blacktriangledown$ キーを押しても周波数に変化しない。
F.LOCK キーをお確かめください。
5. 送信出力が出ない。
ON AIR表示が出ていても、送信出力が出ない時は、アンテナをお確かめください。
6. 電源スイッチを切ると書き込んだメモリーが消えて初期設定の144.000になる。
マイコンのバックアップ用リチウム電池の寿命です。
購入店または当社サービスセンターにご相談ください。

■アフターサービス

1. 保証期間は買い上げの日より1年間です。
正常なご使用状態でこの期間内に万一故障が生じた場合は、お手数ですが製品に保証書を添えて、購入店または、当社サービスセンターにご相談ください。保証書の規定に従って修理いたします。
2. 保証期間経過後の修理についても、購入店または、当社サービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合にはお客様のご要望により、有料で修理いたします。

5. アクセサリー

OPTION		
マイクロヘッドホン ブチホン製 HS-7	アダプター付シーベル金具 BH-5	ブチホン型イヤホン HS-8
ペンシル型 ホイップアンテナ RA-3 (144MHz帯用)	モーター付ブラケット MB-4	
スピーカー・マイクロホン SMC-30	ソフトケース(大) PB-1/4用 SC-13	ノイズフィルター付シガーコード PG-3C
トーンスケルチユニット TSU-3	ソフトケース(小) SC-12	プラグコード PG-2V
電源関係		
ニッカドバッテリー PB-1 12V 800mAh	ニッカドバッテリー PB-3 7.2V 800mAh	マンガン電池ケース BT-5
ニッカドバッテリー PB-2 8.4V 500mAh	ニッカドバッテリー PB-4 7.2V 1600mAh	バッテリーチャージャー BC-2 PB-2用
急速バッテリーチャージャー BC-7 PB-1/2 3/4用	コンパクトチャージャー BC-8 PB-1/2/3/4用	